

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	健福 - 4	共生社会推進事業	☐ 法定受託事務	
所管課	健康福祉部 福祉政策課		評価者 福祉政策課長	
一般	会計	款	項	目
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名	多様性のある福祉のサービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等	意図	共生社会の構築に向けた施策を推進するため
効果	社会との関わりの中で何らかの障害に直面している人をはじめ、すべての市民が安心して自分らしく暮らすことのできる共生社会を実現する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度：年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・かまくら市民共生サポーター向け研修の実施。 ・共生社会の推進に関する研修会の実施。 ・ケアラー支援にかかる理解啓発及びつながりづくりに向けた取組の実施。 ・鎌倉版フォルケホイスコーレ事業の実施。 ・鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの運営。	・かまくら市民共生サポーター向け研修の実施。（令和8年度から地域福祉推進事業にて実施） ・共生社会の推進に関する研修会の実施。（令和8年度から包括的支援体制推進事業にて実施） ・ケアラー支援にかかる理解啓発及びつながりづくりに向けた取組の実施。（令和8年度から包括的支援体制推進事業にて実施） ・鎌倉版フォルケホイスコーレ事業の実施。（令和8年度から孤独・孤立対策推進事業にて実施） ・鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの運営。（令和8年度から孤独・孤立対策推進事業にて実施）	
予算額（千円）	7,857		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	7,857	0	0
当初人員配置数	1.1	0.0	0.0
人件費（千円）	9,391	0	0
事業実績	・かまくら市民共生サポーター向け研修の実施。 ・共生社会の推進に関する研修会の実施。 ・ケアラー支援にかかる理解啓発及びつながりづくりに向けた取組の実施。 ・鎌倉版フォルケホイスコーレ事業の実施。 ・鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの運営。		
決算額（千円）	6,732		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	6,732	0	0
人員配置実績数	1.1	0.0	0.0
人件費（千円）	9,111	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	研修実施回数（共生社会推進に係る研修・かまくら市民共生サポーター）	回	9	⇒	9		
	実績につながる活動	共生社会推進に係る研修を実施した他、かまくら市民共生サポーターに係る各養成講座に出向き説明を行った				40		
活2	指標名	鎌倉版フォルケホイスコーレの過去参加者への意見聴取	人	12	⇒	32		
	実績につながる活動	過去の参加者に対し、参加前の状況・参加の契機、対話の場での経験、対話の場の意味、参加後の変化、その後の展開について意見聴取を行った。						
活3	指標名	ケアラー支援グループへの活動補助金交付件数	件	0	↗	0		
	実績につながる活動	障害に係る当事者・家族交流会を立ち上げた支援機関に対し、交流会スケジュールの確認等、補助金活用の可能性について意見交換を行った。						
活4	指標名	孤独孤立対策に係る研修等の実施回数	回	1	⇒	2		
	実績につながる活動	官民連携プラットフォーム幹事会にて協議検討を行い、必要となる研修の組み立てをおこなった。						

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・研修会等について、効果的な周知を行ったことで想定の実参加者数を確保した研修がある一方で、参加者数が初期値を下回った研修もあることから、多くの方に、多様な視点から共生の取組を学び、理解を深める機会を提供できるよう、より効果的な周知方法を検討が求められる。 ・ケアラー支援については、補助金活用にむけたニーズの把握が課題である。 ・孤独孤立対策については、研修等を行うことで、市民が地域とつながりやすい環境形成に向けた関係団体の意識の醸成が図られていることから、引き続き、研修等を展開していく。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	孤独・孤立対策に関連する取組を行う意向のある団体数（プラットフォーム参加団体数）	団体	24	↗	32			4
成2	鎌倉版フォルケホイスコーレ事業参加人数	人	40	⇒	40			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	初期値を上回る結果となった。各幹事団体が、それぞれの広報媒体にて、市民に対する孤独・孤立対策の理解・啓発を行った他、参加団体向けにニュースレターを発行し、イベントの周知や参加団体同士の取組紹介等を行うといった広報活動を展開したことで、プラットフォームの認知度が向上した結果であると考えられる。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	研修開催等の取組の実施により、参加団体が増加しており、本事業の成果が見受けられる。今後も事業展開を着実に進め、孤独孤立のゼロ次予防を図っていく。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☒ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☒ ある	☐ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない

方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合		
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する		
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果		具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし			
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった			
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性					
	総評		・各取組について概ね計画通りに進行している。 ・共生社会への取組を進めるに当たり、引き続き理解・啓発を促進する必要がある。 ・引き続き、ケアラー支援条例に基づき、新たな支援策や既存の支援策を活用しながら、困りごとを抱えるケアラーに対し、支援を行っていく。 ・鎌倉版フォルケホイスコーレ事業について、孤独孤立対策事業として、取組を展開していく。 ・鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて、今後はさらに団体を増やすことで機運を高めつつ、官民連携による孤独・孤立のゼロ次予防となる取組を創発していく。			
						B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	鎌倉版フォルケホイスコーレ、共生社会推進の研修会など独自の事業が多く、ベンチマーク設定が困難であるため、他市比較は実施しない。
----------------------	---